

オルガノン要約（§7～12）

§ 7 適切なレメディを示唆してくれる唯一のものは、生命エネルギーの病的状態とも言える病気の内的本性を反映した”症状の全体像”だけである。
症状の部分ではなく、全体が除去すべきものである。

§ 8 症状の全体が取り除かれた後には、病気が残っていることはありえない。
＝病は VF の乱れであり、その表現がなくなるということは乱れが解消されたことになる。

§ 9 健康の定義：健康な状態においては、目には見えない生命エネルギーが物質的身体を完全に調和的に管理・統治・維持している。健康な人においては、その生命エネルギーによって、人生におけるより高邁（高次元）な目的のために健康な身体を道具として自由に使用することが可能となる。

§ 10 物質的身体だけでは、腐敗し分解される。非物質的な本性（根源的生命・生命エネルギー）だけが物質的な身体に感覚・機能・自己保存の能力を付与する。その本性がない身体は死んでいる。

§ 11 病気と症状：病気とは生命エネルギーが乱れた状態であり、その影響が生命に対して敵対的に動的に働き、不快な感覚を身体に生じさせ、秩序に反した活動をさせるものである。しかし、この生命エネルギーの乱れは目に見えず、ただ症状としてのみ知らせている。

（注）動的（ダイナミック）な作用の例。月の引力、影響など。これらは人間の知覚能力では認識不可能である。レメディの動的な働きは感染としか言いようがない。磁石の力も感染であり、物質的なものではない。磁石が伝えるのは磁力だけであり、硬性や延性などの特性を伝えることはない。

天然痘や麻疹の病気を伝えるものは精神のような特殊な影響因子である。

レメディ：精神的な根源的エネルギーに対してダイナミックで精神的に働きかけることによって人間の健康状態を変えることができるエネルギーを持った非物質的なもの。それは決して物質的なものを伝えるわけではない。

§ 12 感覚器官に知覚できる病気が現れたということは、ダイナミックな内的エネルギーが全体的に病的に乱れていることを示している。

（注）どのように VF が病として表現するのかを問うても分からないし、役立つものはない。